

創立144周年

学校だより



は南風の子

中種子町立

南界小学校

平成29年6月9日(金)

プラス思考, 子どもの見方をかえて見ると



校長 吉留 巧

「叶う」という漢字は、口に十と書きますが、十を「プラス」とみることもできます。口からプラスになる言葉を発すると、願いが叶う。そういう考えができないでしょうか。

逆に、「叶う」に負の言葉「－」（マイナス）を加えるとどうなるでしょうか。「吐」これを「はく」と読むと、いいことが口から出て行くような気がします。

いつも、プラス思考という訳にはいかないかもしれませんが、気分は前向きで行きたいものです。例えば・・・

- ◇ 友達と喧嘩した →→ 明日は仲良くなるチャンスだ。
- ◇ 先生に叱られた →→ さすが先生、私が頑張るところを教えてくださいました。
- ◇ 野外炊飯が雨だった。→→ 雨の中のカレーづくりは貴重な体験だ。ラッキー。
- ◇ 試合に負けた →→ 次の試合で勝つためにポイントが分かった。

私は、「明日は明日の風が吹く・・・」でどちらかというところプラス思考です。

さて、学校にいますと、「うちの子は、飽きっぽくて何をさせても長続きしません。」とか、「優柔不断でいらいらします。」など、「子どもの欠点ばかり目について・・・」とよく聞きます。親は、子どもを立派な人間に育てたいという親心で、「何とか欠点を直したい」「ここが直ればもっと良くなる」と思います。ですから、子どもの悪いところ、欠点に目が向きます。

でも、見方を変えてみるとどうでしょう。

【短 所】	【長 所】
気が短い・せっかち	頭の回転が早い・反応が早い・行動が早い
自己中心的	自分の意見を持っている・人に流されない
臆病・優柔不断	慎重
気が小さい	デリケート・謙虚
集中力がない	いつも新しいことを考えている
飽きっぽい	好奇心が旺盛・新しいことに敏感
気分屋	自分に正直・素直である
怒りっぽい	熱意にあふれている・ストレスがたまらない
先を考えない	今を大切に生きている

皆さんは、「漫画サザエさん」に登場するカツオ君をどういう見方をしますか。

この短所を長所に置き換える思考を、「ポジティブ・リフレーミング」といいます。

欠点に見えていることも、少し見方を変えて見てみると、「この子のこういう特徴は、欠点ではなく、こういう長所でもある。」感じることができます。そう感じる事ができれば、子どもに対する言い方もおのずと優しくなるのではないのでしょうか。